

数学の展開

諸分野との連携を探る

物性物理、バイオインフォマティク、医療、生物、人体、逆問題、流体、材料など、様々な問題に出会い、数学が新たに展開しています。その一端を皆様と探索するためのワークショップを開催します。

日時：平成22年11月26日（金）～11月28日（日）

場所：東北大学理学部キャンパス，化学第4講義棟

組織委員：尾畑伸明（東北大学）、津田一郎（北海道大学）、中村玄（北海道大学）、西浦廉政（北海道大学）、小谷元子（東北大学）

問い合わせ先：022-795-5742 kotani@math.tohoku.ac.jp



Program



*11月26日(金)

13:20～13:30 Opening Remark

13:30～14:20 木下賢吾（東北大学）遺伝子機能推定のバイオインフォマティクス

14:30～15:00 小池亮太郎（名古屋大学）蛋白質構造変化の記述法

15:10～15:40 金城玲（大阪大学）原子レベルの立体構造を通して見るアミノ酸配列と蛋白質機能の関係

Tea

16:00～16:30 弓削 達郎（東北大学）非平衡定常状態の線形応答の理論

16:40～17:30 川上則雄（京都大学）1次元量子系と共形場理論

*11月27日(土)

10:00～10:50 鈴木貴（大阪大学）腫瘍診断と成長原理解明に関する数理的方法

11:00～11:50 水藤寛（岡山大学）新しいタイプの臨床医療診断を目指した放射線医学と数理科学の協働

Lunch

- 13 : 30~14 : 20 坂上貴之 (北海道大学) 渦・境界相互作用の数理科学
- 14 : 30~15 : 00 Yu JIANG (北海道大学) MR Elastography のデータ解析手法
- 15 : 10~15 : 40 児玉大樹 (東京大学) ファットグラフを用いたタンパク質の構造モデル
- Tea
- 16 : 00~16 : 30 鈴木香奈子 (東北大学) 発癌メカニズムを記述するある反応拡散系が見せる空間パターン
- 16 : 40~17 : 30 中川淳一 (新日本製鐵株式會社) Cultivating an Interface through Collaborative Research between Engineers in Nippon Steel and Mathematicians in Academia
- 18 : 00~20 : 00 Party

*11月28日(日)

- 10 : 00~10 : 50 高木周 (東京大学) 次世代スパコンによる人体のシミュレーション
- 11 : 00~11 : 50 大下承民 (岡山大学) ミクロ相分離における粗大ノ安定化
- Lunch
- 13 : 30~14 : 20 高木泉 (東北大学) "Where's the peak?" : 極大点の在処を求めて

	26 Fri	27 Sat	28 Sun
10:00-10:50		鈴木貴(阪大)	高木周(東大)
11:00-11:50		水藤寛(岡山大)	大下承民(岡山大)
13:30-14:20	木下賢吾(東北大)	坂上貴之(北大)	高木泉(東北大)
14:30-15:00	小池亮太郎(名大)	Yu JIANG(北大)	
15:10-15:40	金城玲(阪大)	児玉大樹(東大)	
16:00-16:30	弓削 達郎(東北大)	鈴木香奈子(東北大)	
16:40-17:30	川上則雄(京大)	中川淳一(新日本製鐵)	
18:00-20:00		懇親会	

☆27日 18:00~20:00 懇親会 数学棟 502

主催：東北大学応用数学連携フォーラム、北海道大学数学連携研究センター
 ※ 東北大学重点戦略支援プログラム及びバイオインフォマティクス学会東北支部の支援を受けています。